

(19)日本国特許庁(JP)

(12)公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号
特開2025-172631
 (P2025-172631A)
 (43)公開日 令和7年11月26日(2025.11.26)

(51)Int.Cl.	F I		テマコード (参考)
C09K 17/06 (2006.01)	C09K 17/06	H	2B022
C09K 17/10 (2006.01)	C09K 17/10	H	4D004
A01G 24/12 (2018.01)	A01G 24/12		4H026
B09C 1/08 (2006.01)	B09C 1/08	ZAB	
	B09C 1/08		

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 13 頁)

(21)出願番号 特願2024-78246(P2024-78246)	(71)出願人 000183266
(22)出願日 令和6年5月13日(2024.5.13)	住友大阪セメント株式会社 東京都港区東新橋一丁目9番2号
特許法第30条第2項適用申請有り 1) 発行所名: 公益社団法人 地盤工学会 刊行物名: 第15回環境地盤工学シンポジウム要旨 発行日: 令和5年11月2日 2) 開催日: 令和5年11月15日、16日 集会名: 第15回環境地盤工学シンポジウム 開催場所: 熊本城ホール(熊本県熊本市中央区桜町3番40号)	(71)出願人 598015084 学校法人福岡大学 福岡県福岡市城南区七隈8丁目19番1号
	(74)代理人 110002734 弁理士法人藤本パートナーズ
	(72)発明者 植田 竜也 東京都港区東新橋一丁目9番2号 住友大阪セメント株式会社内
	(72)発明者 宮脇 賢司 東京都港区東新橋一丁目9番2号 住友大阪セメント株式会社内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】緑生土壌、及び、緑生土壌の製造方法

(57)【要約】

【課題】改質土壌として利用可能な硬さを示しつつ、植物の生育に優れた緑生土壌と、該緑生土壌を製造可能な緑生土壌の製造方法を提供すること。

【解決手段】本発明に係る緑生土壌は、二水石膏、アルミナセメント及び吸水剤を含む土壤改質材と、土壤とを含み、電気伝導率が $500 \mu S/cm$ 以上 $1000 \mu S/cm$ 以下であり、pHが5.0以上8.6以下であり、且つコーン指数が $1000 kN/m^2$ 未満である。

【選択図】なし